

## 第 2 章

### 業務実施方針

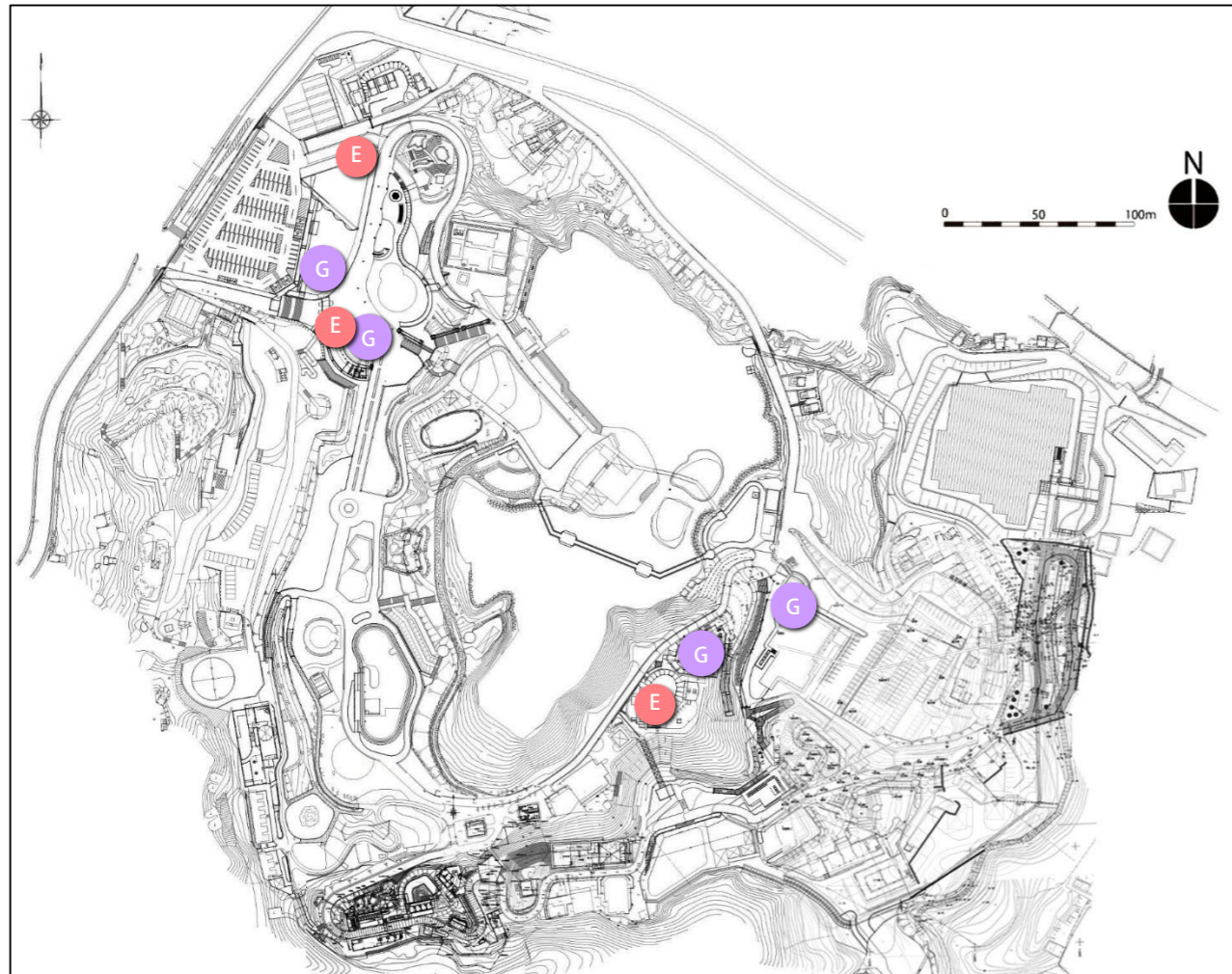
現況平面図 (2019.4月時点の計画中区域図を含む)



(1) 飲食物販施設

1) 現況

現況の飲食物販施設の配置 (2019.4月時点)



- E 飲食施設
- G 物販施設

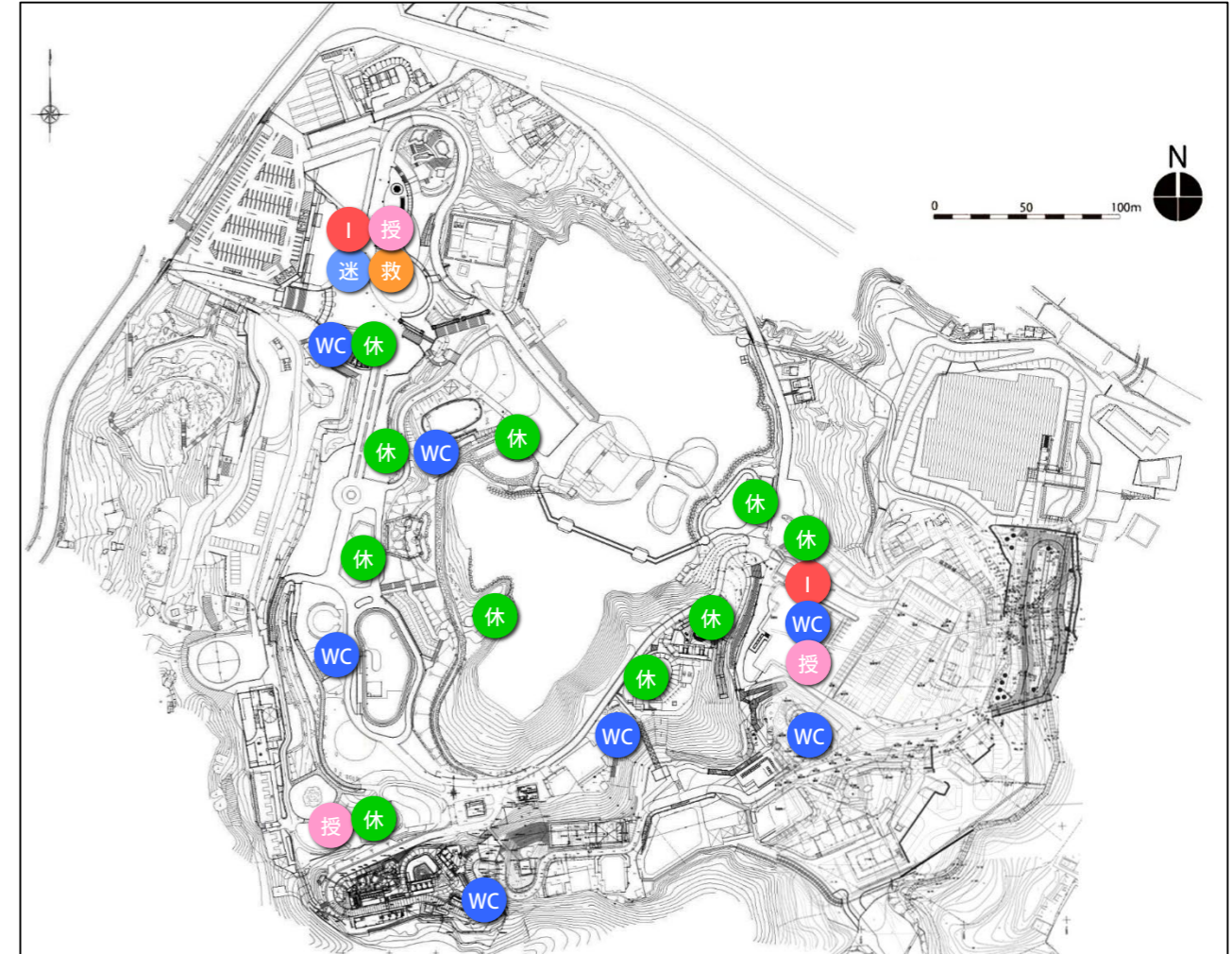
2) 課題

既存の売店は、来園者から「場所がわかりにくい」「狭い」などの意見が寄せられている。一方基本計画では、飲食物販施設は「来園者へのサービスの提供」のみならず、基本理念の実現に向けた「人材育成の取り組みとしての位置づけ」を有するとされており、現状との開きは大きい。来園者数が順調に増加していることから、質（世界観を表現した内外装・魅力ある商品・ハラルやアレルギー対応など）、量（キャパシティの向上）ともに早期の整備実現が求められる。

(2) 休憩スペース・トイレ等便益施設

1) 現況

便益施設の配置 (2019.4月時点)



- I 案内所・インフォメーション
- WC トイレ
- 授乳室
- 迷 迷子案内所
- 救 救護室
- 休 屋外休憩所

2) 課題

園内は、強い日差しや突然の降雨を避けたりするための休憩所や日よけ緑陰の不備不足が否めない。加えて、あまり通行者がいない場所にほとんど利用されない休憩スペースがあるなど、配置バランスも見直す必要がある。加えて、来園者数が突出して増加する特異日や休祝日などは便益施設のキャパシティも十分とはいいがたく、設備と人的サービスの補強が必要である。

## (3) 目標想定年間入園者数の再設定

基本計画で策定した施設整備計画に変更があることから、今後の整備計画を踏まえ、目標（想定）入園者数についても再設定する。

年度	基本計画の 目標（想定） 入園者数	修正目標（想定） 入園者数	既存 区域 整備	施設整備実施状況 および今後の想定	
H30	48万人	約 50万人		既存 区域 整備	
H31 (R1)	60万人	約 55万人			サル舎整備完工
R2	72万人	約 60万人			クマ舎1期整備 完工
R3	79万人	約 65万人			ワニ舎整備完工 東ゲート改修等
R4	87万人	約 70万人			クマ舎2期整備 完工 メインゲート周辺整備等
R5	104万人	約 75万人			拡張区域 新基本計画着手
R6	114万人	約 75万人	拡張区域 基本実施計画 ふれあい広場跡整備等		

## (4) 課題の抽出

## 1) ゾーニング・動物配置の整理

基本計画に設定から変更された動物配置計画や改修工事計画の見直しにより、ゾーニングの名称や展示内容にずれが生じてきている。今後スタートする拡張区域の実施計画にも影響が生じているので、今一度ゾーニング特性を定めなおし、基本理念の実現のために軌道修正する必要がある。

また、来園者に向けたサイン・ガイダンスの各ゾーン・エリアの呼称、見学順路の案内なども現状との不整合が生じているため、一般に発信する園内施設・エリアの名称などは整理して統一する必要がある。

## 2) 来園者増加に伴う施設機能の不足

基本計画策定後、整備改修工事の実施効果により、来園者数の確実な増加がみられているが、一方で駐車場や便益施設等の不足や老朽化が課題となっている。今後さらなる来園者増加を目指すには下記の施設のキャパシティと配置計画の見直しが必須である。

## ① 駐車場

無料開放日や大型イベント等の特異日はもとより、週末や学校休業日のほとんどが、早い時間帯で駐車場が満車になり、都度臨時駐車場への誘導を行っているが、満車による待機列が発生し渋滞を引き起こすなど近隣からの苦情が寄せられている。来園者からも入場までに時間がかかる、という不満の声も寄せられているため、早急に駐車場のキャパシティ向上が必要である。

## ② 飲食・物販店舗

現状メインゲートと東ゲート付近に設けられている店舗が老朽化し、商品も魅力的とはいえない。園全体の売上見込み、特性、商品構成などを整理し、利用者に喜ばれる施設整備を行う必要がある。

## ③ 休憩スペース

夏の強い日差しや突然の降雨を避けるための緑陰や日よけの機能を備えた休憩スペースは未だ充足しているとはいえない。利用者の身体的負担を軽減するため、利用しやすい配置・整備を行う必要がある。

#### ④ トイレ・授乳室等

トイレは老朽化が進むと汚れや臭気の原因から利用されにくくなるため、設備の改修が必要な箇所も複数ある。高齢者や小さな子供、身障者に配慮したバリアフリー化や乳幼児のおむつ替えベッドの設置等が求められており、来園者の増加を前提とした必要穴数の設置を計画する必要がある。

#### ⑤ その他の便益施設

今後、さらなるファミリー層の獲得のためには、ホスピタリティの向上は欠かせない。女性や乳幼児が快適に過ごすことができるパウダールームやプレイルームといった、施設を整備検討する必要がある。

### 3) 修景の整備

近年SNSなどで発信される写真画像が、行ってみたいと思う旅行先などのランキングを左右するなど、来園者自身が撮影して持ち帰る写真の撮影スポットのニーズが高い。園内を見直し、沖縄こどもの国が内外に向け発信できるおすすめの修景を作り、共有して維持管理していく必要がある。

### 4) VIサイン計画の踏襲

沖縄こどもの国のロゴマークが一新され、園内の案内サインも徐々にVIデザインに刷新されているが、一部の案内物やホームページのデザイン更新は未だ完了していない。沖縄こどもの国のブランドイメージを浸透させ、来園時に「ツナガリウム」の世界観に没入していただくために、すべてにおいてVIデザインの統一を図っていく必要がある。

### 5) 夜間営業に向けての設備整備

昼間とは違う動物たちの姿が見られるナイトゾーの試みが人気を集めている。基本計画にうたわれているナイトゾーの実現に先駆け、既存区域で夜間営業を通年で実施できるよう夜間の照明、ライトアップ演出について検討、計画が必要である。

### (5) 業務実施方針

前項で抽出した現状の課題を見直し、来園者の増加に合わせた整備計画と、来園者の満足度を向上させるべく、あるべき姿の再構築を本業務で行う。